

科目名 Course Name	言葉指導法 Child Language and Communication			ナンバリング No.	K4-009		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	大塚 登						
連絡先(質問等)	講義棟3階大塚研究室						
必修/選択	選択(保育士必修)						
関連 DP	DP3,DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	乳幼児の言語発達について理解し、「聞くこと・話すこと・伝え合うこと・文字を使うこと」の基礎的な力を育むために保育者はどう支援したらよいか、言葉がけや環境構成、特に子どもの生活に関係が深い絵本や昔話を通して言葉の美しさ楽しさを育むことについての理解を深めることを目的とする。						
授業の方法	前半は教科書と配布資料の解説を中心に進め、後半は昔話の深層、読み聞かせの実際などを調べ、発表する。						
学習成果	L01						
	L02	児童文化財等の意味や技術を学ぶとともに、発達段階に即した形で発表できる。					
	L03	子どもたちの言語発達とそれを育む保育環境について、自分の言葉で説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎時間実施する小テスト・ワークシートの記入内容を確認し、習熟度を見定めて助言を行う。						
教科書/参考図書	保育士をめざす人の保育内容「言葉」(みらい) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領						
履修上の留意点やルール等	毎回プリントを用意するので、ファイルを用意してください。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とします。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	保育現場の課題、ペープサートの制作		10		
発表	保育現場の課題、ペープサートの発表		10		
小テスト	豆テスト(穴埋め)、ワークシート 各 5 点×14 回			70	
試験					
その他	第 15 回授業「日案」の提出		10		
合計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	授業法・評価の説明、保育所指針における「言葉のねらい」解説 小テスト
	事前・事後学習	教科書13～38を読み、疑問点を明確化する・資料の再確認
2	授業内容	子どもの言葉の発達(音声知覚、喃語、始語、語彙爆発、多語文期) 小テスト
	事前・事後学習	教科書63～74を読み、疑問点を明確化する・資料の再確認
3	授業内容	言葉の発達に課題を抱える子ども(構音障害、吃音・発達障害等) 小テスト
	事前・事後学習	機能的構音障害について調べ、疑問点を明確化する・資料の再確認
4	授業内容	「保育園における言葉」発表1 ワークシート
	事前・事後学習	「保育園における言葉」を発表用フォーマットにまとめる(宿題) 資料の再確認
5	授業内容	「保育園における言葉」発表2 ワークシート
	事前・事後学習	資料の再確認
6	授業内容	児童文化財(絵本・紙芝居)
	事前・事後学習	教科書99～112を読み、疑問点を明確化する
7	授業内容	読み聞かせの意義(講義) ワークシート
	事前・事後学習	配布資料を読み、読み聞かせの意義をまとめておく
8	授業内容	言葉遊びと言葉遊び絵本 ワークシート
	事前・事後学習	教科書115～126を読み、疑問点を明確化する・資料の再確認
9	授業内容	神話・民話・昔話の研究1 「怖い」話の意義 ワークシート
	事前・事後学習	「怖い」話の意義を授業7より考えておく
10	授業内容	神話・民話・昔話の研究2 「怖い」話を選び、紙芝居を作る ワークシート
	事前・事後学習	選んだ話をもとに、指定枚数の紙芝居にする構成を考える
11	授業内容	神話・民話・昔話の研究3 紙芝居を作る ワークシート
	事前・事後学習	紙芝居を完成させる
12	授業内容	神話・郷土民話・昔話の研究4 紙芝居を演じる ワークシート
	事前・事後学習	発表者は練習する・資料の再確認
13	授業内容	神話・郷土民話・昔話の研究5 紙芝居を演じる ワークシート
	事前・事後学習	発表者は練習する・資料の再確認
14	授業内容	「言葉」の指導計画(日案)
	事前・事後学習	教科書143～152を読み、疑問点を明確化する・資料の再確認
15	授業内容	小学校との接続について ワークシート
	事前・事後学習	教科書161～170を読み、疑問点を明確化する